



未来を夢見て

2020/6/22 No. 18

校内研究が始まります

6月18日（金）、午後に宮床小学校で会議がある、ということだったので、出かけてきました。

実は宮床小学校に伺うのは初めてだったので「念入り」に下調べし、余裕をもって伺いました。途中宮床中学校の側を過ぎて、この日は、2つの学校の位置関係を自分の目で理解することができました。宮床小学校の校長室には歴代の校長先生やPTA会長の写真が掲額されていて、やはりその長い歴史を感じました。また、学区が非常に広く、タクシーで通学するお子さんがいることもこのとき初めて分かりました。

さて、その帰り、横断歩道で宮床中学校の学生さんを先に通してあげたら、渡り終わるとこちらを向いて丁寧にお辞儀をしてくれました。実は小野小学校の子供たちの中にもこういった行動ができる子供たちがいて感心させられていました。小学生も中学生もできるところに、地域の力を感じました。

今週から給食が始まり、どの教室でも、静かに食事をしているので、感心した一週間でした。本当はグループで会話をしながら食べるのが通例ですが、これからはこのスタイルが定着しそうです。写真上から2番目は6年1組。よく見ると先生も子供に交じって静かに給食を食べているようでした。

また、午後はおみじ学級の皆さんが体育館で「タグラグビー」をしています。寺林先生を中心に久美先生、加藤先生、志摩先生、門田先生他TTで子供たちの指導にあたり、楽しくボールを回していました。なかなかナイスプレーも出ていて楽しく参観させていただきました。

下から2つの写真は、「ノート名人」コーナーに紹介してあった4年1組田代先生と4年3組佐藤裕子先生の学級のお子さんのノートです。田代先生の学級のお子さんのノートは2段に分かれ、下段には「どのように工夫するか」詳しく書いてありました。また、裕子先生の学級のお子さんのノートには、読み取った気持ちについて上手にまとめていました。この日はあいにくの雨で、外で遊べなかったために、多くの子供たちが校内にいて、職員室前のこのコーナーのノートにもたくさんの子供たちが目を通していました。

本日は研究全体会が開催されます。研究教科は国語、3年経過の2年目、と伺っています。

研究主任の五十嵐先生を中心にこれまで準備をしていただいた研究推進委員の先生方本当にありがとうございました。今年は感染症対策と学びの保証という大きな課題がある中での校内研究のスタートです。廊下に掲示してあるノートを見ても、子供たちに力がついていることは十分に分かります。これまでの積み上げを大切にすると同時に、いつもお話ししていますが、「今、目の前の子供たちに何が必要か」ということを大切に、楽しく研究に取り組んで欲しいと思います。

(文責：手代木)

